



④ 白星病対策

そろそろ白星病の発生時期です。

<u>病原菌</u>	<i>Phyllosticta zingiberis</i> 今のところショウガのみで感染が確認されている。 ただ、ミョウガの葉枯病菌と同一であるという説もあるため、 <u>野良ミョウガにも注意する</u> 。
<u>伝染源</u>	前年の茎葉の残さが伝染源になる。
<u>伝染方法</u>	病斑上の分生子が雨水と共に飛散して、周辺の株に広がっていく。
<u>感染適温</u>	20℃～27℃
<u>伝染範囲</u>	通常は3m～5m、強風時には10mを超えた地点で 感染する場合もある。 台風などの強風を伴う雨が降った場合には、 自分のほ場に白星病が発生していなくても防除を行う 。
<u>感染部位</u>	生長点付近の未展開葉を中心にして感染 していく。
<u>発生時期</u>	早ければ 6月頃から発生する 。
<u>防除方法</u>	残さの腐熟促進と土壌消毒 ・しっかり腐熟させ、作前には土壌消毒を行う。 ・残さが腐熟して病原菌が土壌中に放出されると比較的短期間で死滅する。 定期的な薬剤散布 ・TPN水和剤(=ダコニール1000)を10日間隔で散布。 ・予防的、治療的薬剤にて体系的な防除をする。



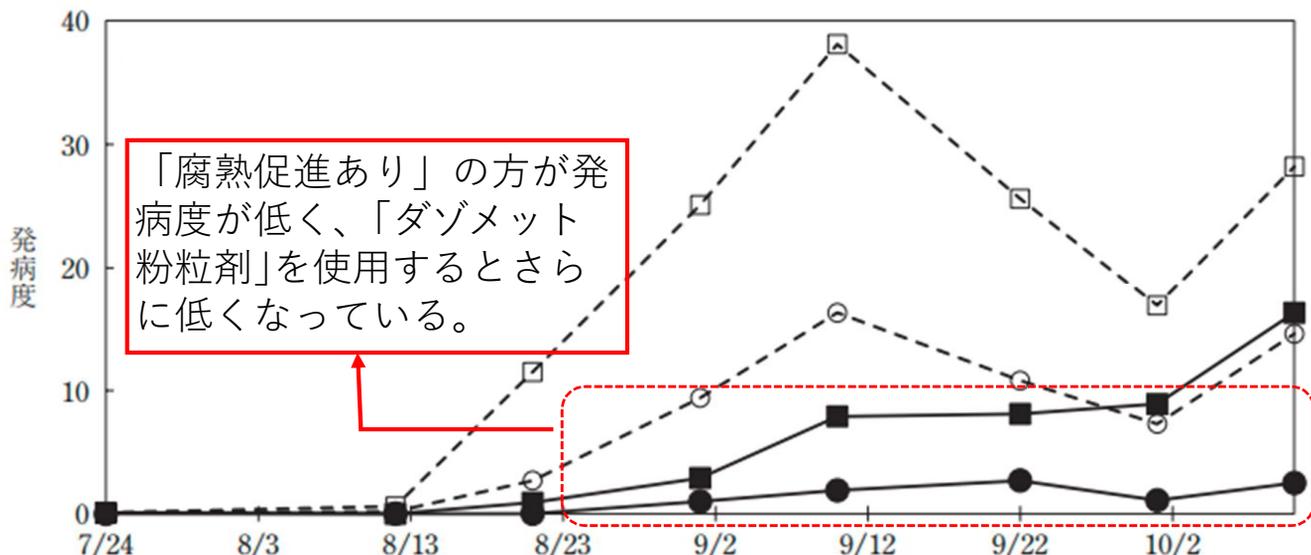
露地ショウガ通信

< 参考データ >

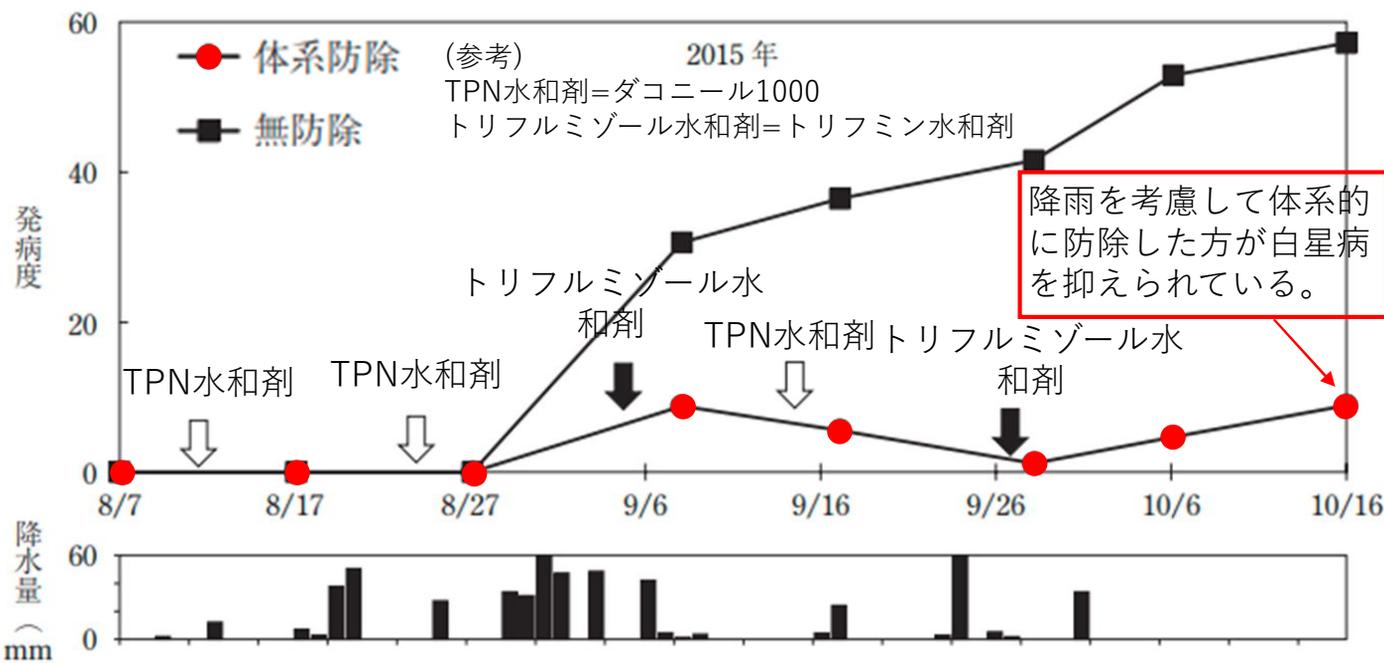
1. 腐熟促進および土壌消毒による白星病の防除効果(2014年)

- 腐熟促進なし・土壌消毒なし
- 腐熟促進なし・ダゾメット粉粒剤
- 腐熟促進あり・土壌消毒なし
- 腐熟促進あり・ダゾメット粉粒剤

クロルピクリンでも同等の効果あり



2. 降雨を考慮した殺菌剤散布による白星病の発病推移(2015年)



この体系防除を参考に、ローテーション散布を心がけて、予防的、治療的散布を行いましょう！農薬を使用する際には登録内容を必ず確認してください。